

様式第2号（第5条関係）

平成29年 4月 21 日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員

土井 道子



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成28年11月13日 ～ 平成28年11月14日まで
- 2 旅 行 先 音更町十勝川温泉
- 3 目 的 第64回北海道女性議員協議会に出席
- 4 関係書類 別紙のとおり



研修名	第64回北海道女性議員協議会総会
日 時	平成28年11月13日（日）～11月14日（月）
会 場	音更町十勝川温泉
内 容	北海道女性議員協議会会長 道議会議員 平出洋子氏 主催地代表 道議会議員 佐々木恵美子氏が挨拶をした。 提出議案 全道各地域から、道議、市議、町議、村議 60 余名が参加した。介護保険サービスの適切な確保と介護従事者の処遇改善を求める意見書など文言の意味を慎重に精査し熱心な討議が繰り返された。また、昨年の 63 回北海道女性議員協議会の要望書のコメントが配布され、コメントが明示されたのは今回が初めてである。 講演 帯広市長 米沢則久氏 「フードバレーとかちの取り組み」 1956 年生まれ還暦。北大の法学部を卒業後石川島播磨重工業株式会社（現・株式会社 IHI）に就職。中近東、アフリカ向けのプラント建設に携わり、アルジェリアにも単身赴任した。29 歳のとき JAFCO（日本合同ファイナンス）へ転職し、JAFCO ロンドン支店の社長もつとめ、53 歳までつとめたが、行政をやってみたくなり市長選へ出馬、138 票の僅差で当選し、現在 2 期目の半分を終えたところである。 具体的な取り組み内容・その成果 ①帯広の長芋 HACCP（ハサップ）対応の安全基準を取得 ②十勝の牛肉（44 万のうち、乳牛と肉牛が半々） 53 億円かけて、ハサップ対応の国内最大級の屠畜場をつくる ③「地域商社」の発想 輸出先の海外の会社に日本現地法人を作ってもら ④アピール 「日本でいちばん売れている食パンの原料に十勝の小麦が使われている」というアピールする。 ⑤十勝人チャレンジ 新しいことにチャレンジする人材を育てる。 若者に、「都会」以外の選択肢をつくる、十勝に住むためには、十勝の「世帯収入の増加」が伴うことが大事。 十勝の事業所が増加し、帯広の人口は、この 5 年で増えている。 「フードバレーとかち」は、現在白書などメディアや出版物で取り上げられているが、海外で活躍した経験を持つ道産子市長の前向きな取

	り組みに大きな期待が寄せられている。
感 想	２７年度北海道女性議員協議会が要望した議案に対し、各々の所管環境生活部、保健福祉部こども未来推進局子育て支援かなどから、コメントが配布され、地方と北海道の経過が理解できた。 参加議員には、５期務めているベテラン議員や、乳飲み子を抱えた若い議員、４月に出産を控えた新婚議員、小学生を家庭に残して参加した三十代の議員など日々の務めをこなしながら議会活動に意欲的な女性議員の存在が、これからの議会活動に大きな影響が及ぼすことを期待できる総会であった。